

評価対象

事務事業名	被災地支援	開始年度	平成 16 年度
所属	防災危機管理室防災課防災係	種別	—
所管課長	防災危機管理室防災課長		
基本政策	1 都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる		
政策名	(5) 自助・共助・公助により災害に強い都心づくりを進める		
施策名	② 災害に強い体制の強化		

事業概要

事業の目的	法令に定めるもののほか、大規模な災害に見舞われた他の特別区及び市町村に対し支援を行うとともに、被災地で支援活動を行う区民等を援助することにより、被災地の災害応急対策及び災害復旧が円滑に実施されることを目的としています。
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な災害に見舞われた他の特別区及び市町村 ・災害が発生した海外の国又は地域（区と関係が深い国又は地域、救援要請があった国又は地域など） ・被災地において自主的な支援活動を行う区民及び区民が所属する団体
事業の概要	<p>(1)区が行う支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災備蓄物資その他の物資の供与（国内及び海外の国又は地域） ②防災資機材等の供与又は貸与（国内及び海外の国又は地域） ③物資及び防災資機材等の輸送（国内及び海外の国又は地域） ④災害応急対策等に従事する職員の派遣（国内） ⑤見舞金の支給（国内及び海外の国又は地域） <p>(2)区民等の支援活動に対する援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ①被災地でボランティア活動を行う区民のボランティア保険料を区が負担（国内） ②被災地でボランティア活動を行う団体への防災資機材の貸与（国内） <p>平成29年度から「東日本大震災被災地支援」事業を統合しました。</p>
根拠法令等	港区大規模災害被災地の支援等に関する条例、同条例施行規則、港区大規模災害被災地に対する見舞金の支給基準、港区外国等の災害に対する見舞金等の支給に関する要綱

事業の成果

指標	指標1	ボランティア保険加入件数			指標2	見舞金支給件数			指標3	見舞金支給額（千円）		
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
		平成28年度	100	99		99.0%	平成28年度	0		9		平成28年度
平成29年度	120	44	36.7%	平成29年度	0	7		平成29年度	0	4,200		
平成30年度	80	—	—	平成30年度	0	—	—	平成30年度	0	—	—	

指標から見た事業の成果
東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経過し、ボランティア保険加入件数は減少しています。

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況								決算状況		
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	140	140	0	0	0	0	5,400	0	5,540	5,483	99%
平成29年度	168	168	0	0	0	0	4,200	0	4,368	4,250	97%
平成30年度	112	112	0	0	0	0	—	—	—	—	—

事業費から見た事業の状況
ボランティア保険料は当初予算に計上していますが、見舞金については、支給決定した額を予備費から充当しています。

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	ボランティア保険料については、加入実績に合わせて予算を見直しました。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	大規模災害による被災地では、未だに復興作業が続いており、避難生活を余儀なくされている方も大勢いるため、長期的に支援できるボランティアが求められています。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	被災地への直接支援は全ての区で実施していますが、区民のボランティア保険料を負担している区は一部のみです。
コスト削減の工夫・余地	ボランティア保険料については、実績に合わせた予算の見直しを毎年度実施します。
委託の有無	一部委託 なし 一部委託 全部委託
委託の内容	・ボランティア保険加入手続 ・保険料負担の制度説明
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	—
事業の課題	国内外で発生する災害は予測不可能なため、見舞金を予算計上することができません。
次年度へ向けた事務の改善点	ボランティア保険料については、加入実績に合わせて予算の見直しを実施します。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	5	被災地への長期的な支援継続のため、支援活動を行う区民の負担を軽減する必要があります。
② 事業の効果性	5	ボランティア保険への加入により、区民が安心して支援活動を行うことができます。
③ 事業の効率性	5	港区社会福祉協議会（ボランティアセンター）が加入窓口になるため、手続きが迅速かつ正確です。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針)	東日本大震災や平成28年熊本地震の被災地では、避難生活が長期化しており、ボランティアなど支援活動の継続が求められています。支援活動の際には、支援者本人のけがはもとより、支援を受ける方々の安全のため、ボランティア保険への加入が不可欠です。支援活動を続ける区民の負担を少しでも軽減するため、ボランティア保険加入料を区が負担することは、極めて妥当であると言えます。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	

評価対象

事務事業名	消防団支援	開始年度	昭和 59 年度
所属	防災危機管理室防災課地域防災支援係	種別	—
所管課長	防災危機管理室防災課長		
基本政策	1 都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる		
政策名	(5) 自助・共助・公助により災害に強い都心づくりを進める		
施策名	④ 地域の防災力の向上		

事業概要

事業の目的	地域の防災リーダーとして防火防災活動に貢献する消防団の活動を支援することで、地域の防災力の向上を図り、区民の生命と財産の安全を確保します。
事業の対象	消防団員
事業の概要	特別区の消防は都知事が所管し、消防団は東京都条例に基づき設置されています。 消防団長の任免、消防団員の任免に係る承認及び消防団運営委員会委員の委嘱については、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例に基づき、区長が行います。 また、区では、以下の事業を実施しています。 ・港区消防団運営委員会 ・消防団の活動を支援するための活動費、訓練手当の支給 ・消防団活動による公務災害に備えた共済掛金の負担 ・団員の装備・防災資機材助成 ・消防団員の表彰 ・港区内消防団ポンプ操法大会及び親睦事業
根拠法令等	消防組織法、特別区の消防団の設置等に関する条例（東京都）、特別区の消防団の組織等に関する規則（東京都）、消防団長等の任免にかかる事務処理要領、港区内消防団等補助金交付要綱、港区消防団員の表彰基準

事業の成果

指標	指標1	消防団員数			指標2	港区消防団運営委員会			指標3	港区内消防団ポンプ操法大会		
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成28年度	580	511	88.1%	平成28年度	1	1	100.0%	平成28年度	1	1	100.0%
	平成29年度	580	501	86.4%	平成29年度	2	2	100.0%	平成29年度	1	1	100.0%
	平成30年度	580	—	—	平成30年度	1	—	—	平成30年度	1	—	—
指標から見た事業の成果	消防団員数は学生消防団活動認証制度の導入（平成27年度）などにより、平成28年度はわずかながら増加しましたが、平成29年度は減少しています。											

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況								決算状況		
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	24,592	24,515	0	77	0	0	0	0	24,592	23,716	96%
平成29年度	24,487	24,360	0	127	0	0	10	—	24,497	23,959	98%
平成30年度	25,229	25,143	0	86	0	0	—	—	—	—	—
事業費から見た事業の状況	平成30年度は、消防団への装備助成品目の変更、消防少年団への活動補助の増により、事業費が増加しています。										

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	消防少年団への活動支援の拡充のため、予算を増額しました。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	近年、大地震や局地的な豪雨による水害等が頻発しており、区民の防災に対する意識は高まっています。地域の防災リーダーとしての消防団の活動に期待が寄せられています。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	消防団への補助金や装備助成は各区とも実施していますが、ポンプ操法大会を主催している区は他にありません。また、親睦事業についても一部の区で実施しているのみです。
コスト削減の工夫・余地	消防団員は定数を下回っており、入団促進のためのPRが必要です。港区公式ホームページや広報みなど、ケーブルテレビの区の広報番組などを利用し、コストを意識しながら効果的な周知方法を検討する必要があります。
委託の有無	一部委託 なし 一部委託 全部委託
委託の内容	港区内消防団ポンプ操法大会会場設営 親睦事業【東京湾クルージング】
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	—
事業の課題	消防団員の定数割れが続き、団員の高齢化が進んでいます。若年層や事業所からの入団促進を検討する必要があります。また、勤務地団員や子育て世代の団員が消防団活動を続けられる環境づくりが必要です。
次年度へ向けた事務の改善点	次世代の消防団員育成のため、消防団や消防少年団の要望に柔軟に対応した支援を行います。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	5	生業のかたわら専門知識と技術を身につけ、地域の防災リーダーとして防火防災知識の普及・啓発に励む消防団の活動は、地域防災力向上のため欠くことができません。
② 事業の効果性	4	各消防団が日頃の訓練の成果を競うポンプ操法大会は、団員の技術の向上や区民等への消防団活動のPRに効果があります。
③ 事業の効率性	4	装備品については、各消防団で差異がないよう、区が一括購入し、現物支給しています。活動費については、各消防団の特色を活かせるよう、補助金としています。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針)	消防組織法により設置される消防団は、特別区では東京都が所管していますが、団員は区民等で構成され、地域と消防の重要なパイプ役を担っています。 東日本大震災、熊本地震をはじめ、近年、土砂災害や水害等が各地で頻発しており、区民の防災への関心が高まっている中、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行されるなど、消防団活動を支援していくことは、区の重要な役割と言えます。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	

No 373

平成30年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	防災住民組織育成・支援	開始年度	昭和 51 年度
所属	防災危機管理室防災課地域防災支援係	種別	—
所管課長	防災危機管理室防災課長		
基本政策	1 都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる		
政策名	(4) 安全で安心して暮らせる都心をつくる		
施策名	③ 地域の防災力の向上		

事業概要

事業の目的	区における住民の自主的な防災住民組織の育成及びその円滑な活動を支援することを目的とします。
事業の対象	区へ結成届を提出している防災住民組織、防災士資格取得者
事業の概要	<p>(1) 防災住民組織の結成促進 (2) 防災資器材助成、活動助成金交付 (3) 防災研修・講演会の開催 (4) 防災士有資格者育成支援</p> <p>区民を中心とした自主的な防災住民組織の結成を促進し、防災資器材の助成や活動助成金を交付するとともに、防災住民組織からの要請に応じて防災研修や講演会を開催し、地域での防災活動を支援しています。また、防災士有資格者に対し、地域の防災リーダーとして活躍してもらうための研修や訓練を実施するなど、人材育成の支援についても行っています。</p>
根拠法令等	災害対策基本法、東京都震災対策条例、港区防災対策基本条例、防災住民組織の育成に関する要綱

事業の成果

指標	指標1	防災住民組織結成件数			指標2	小型消防ポンプ配備数			指標3	防災士有資格者向け研修会参加人数		
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成28年度	233	231	99.1%	平成28年度	231	53	22.9%	平成28年度	75	73	97.3%
平成29年度	233	232	99.6%	平成29年度	231	52	22.5%	平成29年度	140	127	90.7%	
平成30年度	233	—	—	平成30年度	232	—	—	平成30年度	140	—	—	
指標から見た事業の成果	<p>指標1：区内ほぼ全ての町会・自治会（計233団体）において、防災住民組織が結成されています。</p> <p>指標2：希望する防災住民組織へ小型消防ポンプを貸与しています。小型消防ポンプは、機器が重く、操作が複雑なことから、貸与後数年で返却を希望する防災住民組織もあります。</p> <p>指標3：防災士有資格者向けに実施した研修会の参加人数。地域の防災リーダー育成のため、平成27年度から、防災士有資格者向けの研修会を実施しています。</p>											

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	5,645	5,645	0	0	0	0	565	0	6,210	6,133	99%
平成29年度	7,576	7,576	0	0	0	0	0	0	7,576	4,843	64%
平成30年度	6,388	6,388	0	0	0	0	—	—	—	—	—
事業費から見た事業の状況	<p>小型消防ポンプやスタンドパイプの購入については、防災住民組織からの要望に応じて予算要求をしているため、年度によって予算額に差があります。</p>										

事務事業を取り巻く状況等				
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	地域の実情や特性に応じて、初期消火器具の適正な配備について検討する必要があり、小型消防ポンプから、より扱いやすいスタンドパイプへの移行を実施しています。			
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	防災住民組織は、災害発生時には、初動時から積極的に地域の防災の担い手として、災害対応に取り組む必要があることから、今後も区及び防災関係機関と連携した活動支援が求められます。			
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	他区でも、防災住民組織に対して助成金の交付や資器材の購入の補助などの支援を行っています。			
コスト削減の 工夫・余地	現在、防災士有資格者向け研修会は、委託事業者や講師により実施していますが、今後は、研修を受けた防災士が主体となり、区民や防災住民組織に対して、防災知識の普及・啓発を行うことで、事業経費の削減に取り組めます。			
委託の有無	一部委託 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>なし</td></tr><tr><td>一部委託</td></tr><tr><td>全部委託</td></tr></table>	なし	一部委託	全部委託
なし				
一部委託				
全部委託				
委託の内容	小型消防ポンプ保守点検委託、港区防災士有資格者向け研修会企画・運営支援業務委託			
委託等アウトソーシングの 余地・可能性 (委託なしの場合)	—			
事業の課題	防災住民組織については、区内ほぼ全ての町会・自治会において結成されていますが、構成員の高齢化等により、活動頻度が少ない団体もあることから、区と連携した防災訓練を実施するなど、活動促進について検討が必要です。 防災士有資格者については、地域の防災リーダーとして積極的に活躍してもらうため、防災士有資格者に向けた研修を実施しています。今後は、研修を受けた防災士有資格者が、区民や防災住民組織に対し、防災知識の普及・啓発に寄与できる環境づくりについて検討が必要です。			
次年度へ向けた 事務の改善点	各総合支所と連携して、防災訓練をはじめとする、防災住民組織の活動支援をします。また、防災士有資格者向け研修会の内容を充実し、防災士有資格者がより地域で活動しやすい環境づくりを支援します。			

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	5	共助の役割を担う防災住民組織を支援することは区の責務です。
② 事業の効果性	4	防災住民組織の育成・支援は、地域の防災力向上に貢献するとともに、災害発生時の迅速かつ適切な対応に繋がります。
③ 事業の効率性	4	防災住民組織からの防災資器材の貸与や訓練等に関する要望に対して、防災課と各支所協働推進課が連携して迅速に対応する等、効率性の確保に努めています。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による 評価の理由 (事業に対する 取組方針) ※「拡充」「改善」の 場合は拡充・改善 する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続 する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対 象事務事業名を記載	平成29年の度事務事業評価の三次評価にて、地域の実情や特性に応じて、小型消防ポンプをスタンドパイプに移行するなど、防災住民組織のニーズに対応した支援を進めて行くことが望ましいことから、「改善」との評価がありました。平成30年度についても、昨年度に引き続き防災住民組織からのニーズに柔軟に対応した支援の検討を進めていきます。